

令和7年度 自己評価および学校関係者評価書

令和8年3月10日
函館市立恵山中学校

1 本年度の重点教育目標

自ら学び、行動し、自らを磨き高める学校

2 本年度の取組の重点

①確かな学力の育成を目指す学校づくり ②豊かな心と将来への夢を育む学校づくり
③安心・安全に学び、生活できる学校づくり ④地域と共にある学校づくり
⑤生徒・保護者・地域の信頼を高める学校づくり

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
①確かな学力の育成を目指す学校づくり	基礎基本の確実な定着及び教科等横断的なカリキュラムの編成・実施ができたか	b	日頃から生徒に実態に応じた授業改善を心がけるとともに、家庭学習等の推進をより図る。	A	A	学ぶ内容が身近な生活の中でどのように役立っているか知ることで、「もっと学びたい」という意欲につながると考える。
	学習・生活習慣の自己管理に向けた指導ができたか	b	テスト前や長期休業中に用いる計画表を、日常から実践し習慣化できるとよい。	A	A	学習の習慣化は、小学校段階からの取組も重要だと思うので、小中連携を図り考えていけるとよい。
②豊かな心と将来への夢を育む学校づくり	考え議論する道徳の授業を中心とした道徳教育の推進ができたか	a		A	A	
	生徒が主体的に行事や生徒会活動に取り組める機会を与えられたか	a		A	A	
③安心・安全に学び、生活できる学校づくり	全教職員による共感的なふれあい活動を軸とした生徒に寄り添う生徒指導ができたか	b	ふれあい活動が生徒理解に大きく貢献していることを踏まえ、継続していく。	A	A	
	火山「恵山」の噴火を中心に、さまざまな災害を想定した防災教育の推進ができたか	a		A	A	
④地域と共にある学校づくり	地域学習、職場見学・職場体験の計画的な実施ができたか	a		A	A	
	学校だよりや学校ホームページ、保護者懇談会等による情報提供ができたか	a		A	A	
⑤生徒・保護者・地域の信頼を高める学校づくり	服務規律の徹底に向けた事例研修の実施ができたか	a		A	A	
	ECS（小中合同コミュニティスクール）の連携及び実施・改善ができたか	a		A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。